

LCIF News Letter

LCIF ニュースレター



Lions Clubs International
FOUNDATION

MD334

2026-2027年度 地区ガバナー/地区LCIFコーディネーター
目標達成への抱負/地区のメンバーへのメッセージ

334-A 地区



中村 宗雄ガバナー (左)
下川 健コーディネーター

LCIFはライオンズクラブの奉仕を世界へ届ける原動力です。

今年度334-A地区では、LCIFの意義を全会員で共有し、100ドル、100%、100万ドルを目標とし、寄付への挑戦とMJFへの理解促進に取り組みます。また、交付金を活用した地域に根差す奉仕事業を推進し、寄付が地域と世界の双方で大きな力となることを実感できる地区を目指します。

奉仕をする団体LCIと奉仕を支える財団LCIFは、奉仕を進める両輪です。ライオンズメンバー一人おひとりの善意は、災害支援や視力保護、青少年育成など、世界中で希望を届ける力となります。

未来へ奉仕の心をつなぐため、「できる人が、できる時に、できる支援を」を合言葉に、ともにLCIFへの理解と協力の輪を広げてまいりましょう。

皆様の温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

334-B地区ガバナーとして、今期はLCIFの価値を皆様と共有し、今年度は33万ドル寄付を目標に設定し確実な目標達成に挑みます。

そのために、公式訪問やゾーン会議での詳細な「LCIF説明会」を徹底し、寄付の意義を深く浸透させます。各クラブにはキャビネット作成のパワーポイントを活用したLCIF例会の開催をお願いし、共感の輪を広げてまいります。また、各地の成功事例を積極的に発信し、他クラブと切磋琢磨できる連帯感を醸成する所存です。

その上で、国際奉仕の基軸となる「1人100ドル寄付」では、会員数の50%にあたる1,200名の達成を目指します。また100ドル×100%クラブも半数の35クラブ以上の達成を目指しましょう。さらに、MJF寄付では昨年の実績を上回る200名の協力をお願いいたします。奉仕の証を讀める顕彰の機会も拡充してまいります。まずは私たち地区役員が率先して目標を達成し、その姿勢を皆様にお示しします。

ライオンズの情熱をLCIFという形で未来へ繋ぐため、皆様の温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

334-B 地区



阿部 嘉澄ガバナー (右)
加藤 謙一コーディネーター

334-C 地区



有賀 公哉ガバナー (左)
前田 磨コーディネーター

LCIFは、ライオンズクラブの奉仕を世界規模で実現するための財団です。

私たち一人ひとりの善意が、災害支援や医療支援、青少年育成など、世界中で支援を必要とする人々の希望につながっています。

今年度は地区目標34万3,000ドルの達成を目指し、MJF230口、100/100寄付25クラブ、企業寄付20口を目標に、地区全体で善意の輪を広げてまいります。また、地区・クラブにとって有益なシェアリング交付金の活用についても周知を図って参りたいと考えます。

LCIFへの寄付は決して強制ではなく、一人ひとりのご理解と善意によって支えられています。私たちの寄付は、世界のどこかで誰かの命や暮らしを支え、クラブだけでは実現できない世界への奉仕を可能にします。

ライオンズだからこそできるこの活動の価値をご理解いただき、地区内の善意の輪をさらに広げていけるよう、ご協力をお願いいたします。